

平成23年6月7日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成23年5月19日付け厚生労働省発食安0519第4号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくジノテフランに係る食品規格（食品中の農薬及び動物用医薬品の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

ジノテフラン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

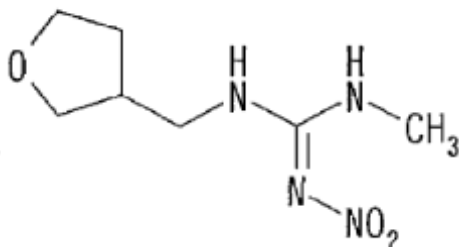
(1) 品目名：ジノテフラン [Dinotefuran (ISO)]

(2) 用途：殺虫剤

テトラヒドロフリルメチル基を有するネオニコチノイド系殺虫剤である。主な作用機序は、神経のシナプス後膜にあるニコチン性アセチルコリン受容体に対するアゴニスト作用によるものと考えられている。

(3) 化学名：(RS)-1-methyl-2-nitro-3-(tetrahydro-3-furylmethyl)guanidine (IUPAC)
N-methyl-*N*'-nitro-*N*"-[(tetrahydro-3-furanyl)methyl]guanidine
 (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	C ₇ H ₁₄ N ₄ O ₃
分子量	202.21
水溶解度	40 g/L (20°C, pH 6.98)
分配係数	log ₁₀ Pow = -0.549 (25°C)

(メーカー提出資料より)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

なお、**作物名**、**使用方法**のように記載しているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

(1) 農薬としての使用方法

①0.35%ジノテフラン粉剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)
	カメムシ類	3~4kg/10a				

②0.5%ジノテフラン粉剤

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	—	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類 イナゴ類 イネドロオイムシ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)
だいず		カメムシ類 フタスジヒメハムシ ダイズサヤタマバエ			2回以内		3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
えだまめ							2回以内

③10%ジノテフラン液剤

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	—	ツマグロヨコバイ	1000倍	60~150L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布 無人ヘリコプターによる散布 空中散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)
		カメムシ類 ウンカ類	300倍	25L/10a				
			8倍	0.8L/10a				
			30倍	3L/10a				
だいた	—	カメムシ類 フタスジヒメハムシ	1000倍	100~300L/10a	2回以内	散布 無人ヘリコプターによる散布 空中散布	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	
		カメムシ類	8倍	0.8L/10a				
		えだまめ	カメムシ類 フタスジヒメハムシ	1000倍				100~300L/10a

④4%ジノテフラン・48%プロベナゾール水和剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネズグウムシ イネトヨイムシ ウンカ類	500g/10a	移植時	1回	ペースト肥料に混合し側条施肥田植機で施用する	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)

⑤10%ジノテフラン・8%トリシクラゾール水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	1000倍	60~150L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布 無人ヘリコプターによる散布	4回以内 (育苗箱への処理および側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)
		250~300倍	25L/10a				
		8倍	0.8L/10a				

⑥15%ジノテフラン・クロラントラニリプロール水和剤

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の 総使用回数
キャベツ	アブラムシ類 コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ	100 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱または ペーパーポット1 冊 (30×60cm・ 使用土壌 約1.5～4.0L) 当り 0.5L	定植 前日 ～ 定植時	1 回	灌注	3 回以内 (育苗期の株元散布、定 植時の土壌混和及び灌注 は合計1回以内、散布は2 回以内)
はくさい	アブラムシ類 コナガ アオムシ ヨトウムシ						3 回以内 (定植時の土壌混和及び 灌注は合計1回以内、散 布は2回以内)
レタス	アブラムシ類 オオタバコガ カブラヤカ ナモグリハエ ハスモンヨトウ						3 回以内 (育苗トレイへの灌注は 1回以内、散布は2回以 内)

⑦1%ジノテフラン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ イネドロオイムシ カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)
きゅうり	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期	1回	株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び定植時の株元散布は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	ハモグリバエ類 アザミウマ類		定植時		植穴土壌混和	
	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期		株元散布	
			生育期 但し、収穫14日前まで			
1~2g/株	定植時	植穴土壌混和				
うり類 (漬物用)	アザミウマ類	2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	アブラムシ類 コナジラミ類	1~2g/株				
メロン	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期	1回	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び定植時の株元散布は合計1回以内、散布は2回以内)
	ハモグリバエ類 アザミウマ類		定植時		植穴土壌混和	
	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期		株元散布	
			定植時			
すいか	ワタアブラムシ	2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
			生育期 但し、収穫21日前まで		株元散布	
			育苗期			

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメフェンを含む農薬の総使用回数
かぼちゃ	アブラムシ類	2g/株	定植時	1回	植穴 土壌 混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
なす	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期		2回以内	株元 散布
	ハモグリバエ類 アザミウマ類	1~2g/株	定植時	植穴 土壌 混和		
	アブラムシ類 コナジラミ類	1g/株	育苗期 生育期 但し、 収穫前日 まで	株元 散布		
トマト ミニトマト	ハモグリバエ類	1~2g/株	育苗期	1回	植穴 土壌 混和	5回以内 (育苗期の株元散布は1回以内、定植時の灌水は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	コナジラミ類	1g/株	定植時			
	コナジラミ類 アブラムシ類		育苗期 生育期 但し、 収穫前日 まで			
	定植時		1回	植穴 土壌 混和		
ピーマン	アザミウマ類	1~2g/株	定植時	1回	植穴 土壌 混和	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	アブラムシ類	1g/株	育苗期			
			生育期 但し、 収穫前日 まで			
とうがらし 類	アザミウマ類	1~2g/株	定植時	1回	植穴 土壌 混和	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	アブラムシ類	1g/株	育苗期			
			生育期 但し、 収穫14日前 まで			
とうがらし (葉)	アザミウマ類 アブラムシ類	1g/株	定植時 但し、収穫 30日前まで		植穴 土壌 混和	1回

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメフェンを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類	2g/株	育苗期	1回	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
	アオムシ コナガ	2~3g/株	定植時		植穴土壌混和	
	ハイマダラノメイガ	3g/株				
はくさい	アブラムシ類	2g/株	定植時		植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	アオムシ コナガ	2~3g/株				
	ハイマダラノメイガ	3g/株				
ブロッコリー	アブラムシ類 コナガ	2g/株				3回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	6kg/10a	定植時	2回以内	株元散布	4回以内 (育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
			生育期 但し、 収穫3日前 まで			
にんじん	ハモグリバエ類	9kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	4回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメチアザンを含む農薬の総使用回数
だいこん	アブラムシ類	6kg/10a	は種時	1回	播溝 土壌混和	5回以内 (は種時の粒剤の 播溝土壌 混和は1回 以内、は種時の粒 剤の全面土壌混和 は1回以内、生育 期の粒剤の散布は 1回以内、生育期 の水溶性剤の散布は 2回以内)
	キスジノミハムシ	4~6kg/10a			6kg/10a	全面 土壌混和
9kg/10a		生育期 但し、 収穫30日前 まで	散布			
かぶ	キスジノミハムシ アブラムシ類				は種時	播溝 土壌混和
レタス 非結球レタス	ナモグリバエ	培土1L当 り15g	は種前		育苗 培土混和	4回以内 (は種前の 育苗培土混和は1 回以内、育苗期の 株元散布及び定 植時の土壌混和 及び育苗トレイへの 灌注は合計1回 以内、散布は 2回以内)
		1g/株	育苗期後半		株元散布	
	アブラムシ類 ナモグリバエ	2g/株	定植時		植穴 土壌混和	
チンゲンサイ	キスジノミハムシ	6kg/10a	定植時	土壌混和	3回以内 (は種時及び定 植時の土壌混和 は合計1回以 内、散布は 2回以内)	
	アブラムシ類		は種時	播溝 土壌混和		
非結球 あぶらな科 葉菜類 (チンゲンサイ を除く)	アブラムシ類 キスジノミハムシ					3回以内 (は種時の土壌 混和は1回以 内、散布は2回 以内)
なばな類	アブラムシ類					

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメフェンを含む農薬の総使用回数
ほうれんそう	アブラムシ類	6kg/10a	は種時	1回	播溝 土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
しゅんぎく	ハモグリバエ類	9kg/10a				植溝 土壌混和
いちご	ワタアブラムシ	0.5～1g/株			定植時	植穴 土壌混和
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ	20g/株	育苗期	5回以内	株元散布	5回以内
くわい	アブラムシ類	3kg/10a	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内
オクラ		9kg/10a	生育期 但し、 収穫14日 前まで			
さやえんどう	ハモグリバエ類	9kg/10a	生育期 但し、 収穫14日 前まで	1回	株元散布	3回以内 (株元散布は1回以内、散布は2回以内)
だいず	フタスジヒメハムシ	6kg/10a	は種時		播溝 土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
食用ぎく	アブラムシ類	1g/株 (但し、10a 当り30kg まで)	定植時		植穴 土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	マメハモグリバエ	2g/株 (但し、10a 当り30kg まで)				
茶	クシロカイガラムシ	12kg/10a	摘採7日前まで	2回以内	株元 土壌混和	2回以内

⑧1%ジノテフラン・4%ベンフラカルブ粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イトナカイシ イネズグウムシ	育苗箱 (30×60× 3cm、使用土 壤約 5L) 1 箱当り 50g	移植 当日	1 回	育苗箱 の上から 均一に 散布す る。	4 回以内 (育苗箱への処理及び側条 施用は合計 1 回以内、本田 での散布、空中散布、無人ヘ リ散布は合計 3 回以内)
ねぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	3~6kg/10a	定植時		株元 散布	4 回以内 (育苗トレイへの灌注及び 定植時の株元散布は合計 1 回以内、生育期の株元灌注 は 1 回以内、散布は 2 回以 内)
きゅうり	コナジラミ類 シキイロアザミウマ	1g/株				4 回以内 (育苗期の株元散布、定植時 の土壌混和及び定植時の株 元散布は合計 1 回以内、定植 後の株元散布は 1 回以内、 散布は 2 回以内)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
なす	コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	1g/株	定植時	1 回	株元 散布	3 回以内 (育苗期の株元散布、定植 時の土壌混和及び定植時 の株元散布は合計 1 回以 内、散布及び定植後の株元 散布は合計 2 回以内)
メロン	コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	1g/株				3 回以内 (育苗期の株元散布、定 植時の土壌混和及び定植 時の株元散布は合計 1 回 以内、散布は 2 回以内)

⑨2%ジノテフラン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズグウムシ イネドロオウムシ イネクロカメムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 50g	は種前	1 回	育苗箱 の床土又は 覆土に 均一に 混和する。	4 回以内 (育苗箱への 処理及び側条施用は 合計 1 回以内、本田 での散布、空中散布、 無人ヘリ散布は合計 3 回以内)
			は種時覆土前 ~移植当日		育苗箱の上 から均一に 散布する。	
	ニカメイチュウ フタオビコヤガ		移植 3 日前 ~移植当日			

⑩3%ジノテフラン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	1kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)
	カメムシ類				無人ヘリコプターによる散布	

⑪5%ジノテフラン・15%ピロキロン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ツマグロヨコバイ	1kg/10a	出穂5日前まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)
	いもち病 ウンカ類 カメムシ類				無人ヘリコプターによる散布	

⑫12%ジノテフラン剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	カメムシ類	250g/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)
	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	250~500g/10a				

⑬20%ジノテフラン水溶剤

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	
稲	—	カメシ類	2000倍	60～150L /10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)	
		ウカ類 ツマグロヨコバイ	3000倍						
ピーマン		アブラムシ類	2000～3000倍	100～300L /10a	収穫前日まで	2回以内		3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)	
		コジラミ類							
		アザミヤカ類	2000倍						
トマト ミニトマト		コジラミ類	100倍	セル成型育苗 トレイ1箱または パ―ポット 1冊(30× 60cm・使用土 壌約1.5～ 4.0L)当り 0.5L	定植時	1回		1回	5回以内 (育苗期の株元散布は1回以内、定植時の灌注は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
			2000～3000倍	100～300L /10a	収穫前日まで	2回以内		散布	
なす		コジラミ類	2000～3000倍						3回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び定植時の株元散布は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
		アブラムシ類	3000倍						
とうがらし類		アザミヤカ類	2000倍	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)					
	アブラムシ類	3000倍							

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ジノテフラン を含む農薬の 総使用回数				
かぼちゃ	—	アブラムシ類	2000 倍	100～ 300L /10a	収穫前日 まで	2 回 以内	散布	3 回以内 (定植時の土 壌混和は 1 回 以内、散布は 2 回以内)				
きゅうり		アブラムシ類 コナジラミ類	2000～ 3000 倍					4 回以内 (育苗期の株 元散布、定植 時の土壌混 和及び定植 時の株元散 布は合計 1 回 以内、定植後 の株元散布 は 1 回 以内、散布は 2 回以内)				
		アザミウマ類	2000 倍					4 回以内 (育苗期の 株元散布及び 定植時の土壌 混和は合計 1 回以内、 定植後の株元 散布は 1 回 以内、散布は 2 回以内)				
すいか		アブラムシ類	2000～ 3000 倍		収穫 7 日前 まで			2 回 以内	散布	4 回以内 (育苗期の 株元散布及び 定植時の土壌 混和は合計 1 回以内、 定植後の株元 散布は 1 回 以内、散布は 2 回以内)		
メロン		コナジラミ類	3000 倍		2000 倍			収穫 3 日 前まで	2 回 以内	散布	3 回以内 (育苗期の株 元散布、定植 時の土壌混 和及び定植 時の株元散 布は合計 1 回 以内、散布は 2 回以内)	
		アブラムシ類									2000 倍	3 回以内 (定植時の土壌 混和は 1 回 以内、散布は 2 回以内)
		アザミウマ類									2000 倍	3 回以内 (定植時の土壌 混和は 1 回 以内、散布は 2 回以内)
うり類 (漬物用)		コナジラミ類 アザミウマ類	2000 倍		2000～ 3000 倍			収穫 7 日 前まで	2 回 以内	散布	3 回以内 (定植時の土壌 混和は 1 回 以内、散布は 2 回以内)	
		アブラムシ類	2000～ 3000 倍								2 回以内	
にがうり	コナジラミ類	2000 倍	2000 倍	収穫前日 まで	2 回 以内	散布	2 回以内					
ズッキーニ	アブラムシ類						2000 倍	2 回以内				

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメチアザールを含む農薬の総使用回数
まくわうり	—	アブラムシ類	3000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	1回	散布	1回
クレソン			2000～3000倍			3回以内		3回以内
ブロッコリー						100倍		セル成型育苗 トレイ1箱または ペーパーポット1冊 (30×60cm・ 使用土壌 約1.5～4.0L) 当り0.5L
		セルリー	アブラムシ類	2000倍	100～300L /10a	収穫14日前まで	2回 以内	散布
はくさい		アブラムシ類	2000～3000倍	収穫3日前まで		3回以内 (定植時の土壌混 和は1回以内、散 布は2回以内)		
キャベツ		アブラムシ類 コナガ アオムシ ハイマダラノメカ	50～ 100倍	セル成型育苗 トレイ1箱または ペーパーポット1冊 (30×60cm・ 使用土壌約3L) 当り0.5L		定植前日 ～定植時		
		レタス	アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～300L /10a	収穫3日前まで	2回 以内	散布
ハスモンヨトウ			50倍	セル成型育苗 トレイ1箱または ペーパーポット1冊 (30×60cm・ 使用土壌 約1.5～4.0L) 当り0.5L	定植前日 ～定植時	1回	灌注	1回以内、 育苗期の株元散 布及び 定植時の土壌 混和及び育苗ト レイへの 灌注は合計 1回以内、散布 は2回以内)
アブラムシ類 ナメコリバエ			50～ 100倍					

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
非結球レタス	—	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	4回以内 (は種前の育苗培土混和は1回以内、育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
		ハスモンヨトウ	50倍	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0L)当り0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	
だいこん	—	アブラムシ類	3000倍				100～300L/10a	収穫7日前まで
				収穫3日前まで	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)			
かぶ	—	アザミウマ類	2000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
ねぎ	—	アザミウマ類 ネギハモグリバエ	50倍	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0L)当り0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	
		アザミウマ類 ネギハモグリバエ トビイロヒョウタンゾウムシ	400倍				0.4L/m ²	
にら	—	ネギアザミウマ	400倍	0.4L/m ²	生育期 但し、収穫14日前まで	1回	株元灌注	3回以内 (生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
		ネギアザミウマ アブラムシ類	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数					
アスパラガス	—	アザミウマ類 コジラミ類 ジュウシホシクビナガハムシ	2000倍	100～800L /10a	収穫 前日まで	3回以内	散布	3回以内					
にんじん		アブラムシ類	400倍	0.4L/m ²	収穫7日 前まで	2回以内		株元 灌注	4回以内 (は種時の 土壌混和は 1回以内、 生育期の 株元灌注は 1回以内、散布 は2回以内)				
		トビイロヒヨウタンゾウムシ			生育期 但し、 収穫21日 前まで	1回							
しゅんぎく		アブラムシ類	3000倍	100～300L /10a	収穫 前日 まで	2回 以内	散布	3回以内 (は種時及び 定植時の土壌 混和は合計1 回 以内、散布は 2回以内)					
ほうれんそう					3回以内 (は種時の土 壌混和は1回 以内、散布は 2回以内)								
チンゲンサイ					3回以内 (は種時及び 定植時の土壌 混和は合計1 回以内、散布 は2回以内)								
非結球あぶらな 科葉菜類 (チンゲンサイ を除く)					アブラムシ類			3000倍	100～300L /10a	収穫 3日前 まで	2回 以内	散布	3回以内 (は種時の土 壌混和は1回 以内、散布は 2回以内)
					アブラムシ類			3000倍					3回以内 (は種時の土 壌混和は1回 以内、散布は 2回以内)
					アブラムシ類			3000倍					3回以内 (は種時の土 壌混和は1回 以内、散布は 2回以内)
なばな類					アブラムシ類			3000倍	100～300L /10a	収穫 3日前 まで	2回 以内	散布	3回以内 (は種時の土 壌混和は1回 以内、散布は 2回以内)
	アブラムシ類				3000倍			3回以内 (は種時の土 壌混和は1回 以内、散布は 2回以内)					

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数		
ばれいしょ	-	ワタアブラムシ	2000倍	100～300L /10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内		
かんしょ		コナジラミ類			収穫3日前まで	1回		1回		
だいず		カメムシ類 ダズサヤマバエ	3000倍		収穫7日前まで	2回以内		3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)		
		フタスジヒメハムシ								
えだまめ		カメムシ類 ダズサヤマバエ	2000倍		2回以内	2回以内				
		フタスジヒメハムシ	3000倍							
さやえんどう		アブラムシ類 ハモグリバエ類	2000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内 (株元散布は1回以内、散布は2回以内)		
らっきょう		アザミウマ類								
オクラ		アブラムシ類							2回以内	3回以内 (株元散布は1回以内、散布は2回以内)
すいぜんじな		収穫3日前まで								
ふき		コナジラミ類	3回以内		3回以内					
せり	水田	アブラムシ類		3回以内						
りんご	-	アブラムシ類 キンモンホリガ シクイムシ類 キンモンハモグリガ クワコナカイガラムシ カメムシ類	2000倍	200～700L /10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内		
もも		モモチョッキリゾウムシ								
ネクタリン		アブラムシ類 モモハモグリガ シクイムシ類 カメムシ類								
おうとう		オウトウショウジヨウバエ カメムシ類	3回以内			2回以内		2回以内		
なし		アブラムシ類 シクイムシ類 カメムシ類 ケムシ類 クワコナカイガラムシ								
かき		カメムシ類 コナカイガラムシ類 カキハタムシガ チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ								
マンゴー	チャノキイロアザミウマ	3回以内	3回以内							

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメチアザールを含む農薬の総使用回数							
小粒核果類	—	アブラムシ類 カメムシ類	2000 倍	200～700L /10a	収穫 前日まで	3 回 以内	散布	3 回以内							
ぶどう		フタテンヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ コナカイガラムシ類	3000 倍 1000～ 2000 倍		収穫 前日まで	3 回 以内		3 回以内							
かんきつ		チャノキイロアザミウマ コナカイガラムシ類 コマダガラミキリ	1000～ 2000 倍 1000 倍		2000 倍	収穫 前日まで		3 回 以内	3 回以内						
		アブラムシ類 ミカンハモグリガ カメムシ類 コアオハナムグリ ケシキスイ類 ミカンハエ アカマルカイガラムシ ヤノネカイガラムシ ミカンキジラミ コナジラミ類 チャノミドリヒメヨコバイ	2000 倍			2000 倍		2000 倍		2000 倍	2000 倍				
		カメムシ類										2000 倍	収穫前日 まで	2 回以内 3 回以内	2 回以内 3 回以内
		カメムシ類										1000～ 2000 倍	収穫 14 日前 まで	2 回以内	2 回以内
あけび(果実)		カメムシ類			2000 倍				2 回以内			2 回以内			
茶		チャノホリガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ ツマグロアオカスミカメ コミカンアブラムシ	2000 倍		200～ 400L /10a	摘採 7 日前 まで		2 回 以内	2 回以内						
てんさい		カメノコハムシ	1000～ 2000 倍		100～ 300L/10a	収穫 7 日前 まで		1 回	灌注	3 回以内 (灌注は 1 回 以内、散布は 2 回以内)					
		テンサイイログリハナハエ テンサイトビハムシ	100～ 200 倍		5L/ペーパ ーポット 6 冊 (2.5L/m ²)	移植前									
	テンサイトビハムシ	100～ 240 倍	6L/ペーパ ーポット 6 冊 (3L/m ²)												
しそ科葉菜類 (バジルを除く)	—	アブラムシ類	3000 倍	100～300L /10a	収穫 3 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内							
バジル		アブラムシ類 コナジラミ類			収穫 3 日前 まで										
しそ(花穂)		アブラムシ類			収穫 3 日前 まで										

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
きゅうり(葉)	—	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
きゅうり(花)					収穫前日まで			
しょくようほおずき		アブラムシ類			収穫3日前まで			
食用ミニバラ					収穫3日前まで			
食用カーネーション		コジラミ類			収穫3日前まで			
食用トネア					収穫3日前まで			
食用パンジー		アブラムシ類			収穫7日前まで			3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
食用ぎく								

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
かき	コカカガラムシ類	20～40g/樹	発芽前～発芽期	1回	本剤1g当り水1mLの割合で混合し、主幹から主枝の粗皮を環状に剥いだ部分に塗布する。	4回以内 (塗布は1回以内、散布は3回以内)

⑭20%ジノテフラン水溶剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
わさび	アブラムシ類	2000倍	200L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内

⑮50%ジノテフラン水溶剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	散布液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	カメムシ類 ウンカ類	40倍	0.8L/10a	収穫7日前まで	3回以内	無人ヘリコプターによる散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)
						空中散布	

(2) 動物用医薬品としての使用方法

食用動物には直接使用しない。畜・鶏舎内及びその周辺のハエの成虫の発生又は棲息する場所に、畜・鶏舎内外の床面積 100m²に対し、ジノテフランとして 2g を 100~400ml の水に溶かした溶液を壁、柱に塗布する、又は壁、柱等に噴霧塗布する。なお、塗布量の目安は塗布面 1m²当たり溶液 100ml とし、溶液が地面に滴り落ちないようできるだけ均一に塗布又は噴霧塗布を行う。

3. 農薬の作物残留試験結果

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

ジノテフラン

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル又は含水メタノールにより抽出し、ヘキサンで洗浄後、多孔性ケイソウ土、ベンゼンスルホニルプロピルシリル化シリカゲル (SCX)、グラファイトカーボン・エチレンジアミン-*N*-プロピルシリル化シリカゲル (PSA)、トリメチルアミノプロピルシリル化シリカゲル (SAX) 等のカラムを用いて精製する。又は、試料からアセトニトリルで抽出し、多孔性ケイソウ土、中性アルミナ、グラファイトカーボン、グラファイトカーボン・PSA 等のカラムを用いて精製する。高速液体クロマトグラフ (UV) 又は液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) で定量する。

定量限界 0.01~0.05ppm (えごま (葉) は 0.4ppm)

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1 を参照。

4. 乳汁への移行試験結果

乳牛 6 頭 (各群 2 頭) に対し、ジノテフラン 3, 12, 48mg/頭/日をカプセルに封入した製剤を、朝の搾乳直後に 7 日間連続して経口投与した。

投与開始前日、及び投与開始後 1、3 及び 7 日目、最終投与後 1、3、5 及び 7 日目に、搾乳機を用いて 1 日に 2 回搾乳し、同一日の試料を十分に混合し、分析試料としてジノテフラン含量を測定したところ、いずれの試料においても、ジノテフラン及び主要代謝物 UF (1-メチル-3- (テトラヒドロ-3-フリルメチル) ウレア)、DN (1-メチル-3- (テトラヒドロ-3-フリルメチル) グアニジン)、MNG (1-メチル-2-ニトログアニジン) の残留は検出されなかった。(検出限界はジノテフラン 0.04ppm、主要代謝物 0.02ppm)

5. 動物用医薬品の残留試験

動物用医薬品の用途においては、食用動物には直接適用しないため残留試験は実施されていない。

6. ADIの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたジノテフランに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：22 mg/kg 体重/day	
（動物種）	イヌ
（投与方法）	混餌
（試験の種類）	慢性毒性試験
（期間）	1年間
安全係数：100	
<u>ADI：0.22 mg/kg 体重/day</u>	

また、動物用医薬品としては上記の評価に加え以下のとおり評価されている。

本剤は水に溶かした溶液を畜・鶏舎内及びその周辺の壁、柱等に塗布又は噴霧塗布して使用され、動物体に直接適用されない。また、ジノテフランは蒸気圧が $< 1.7 \times 10^{-6}$ Pa（25℃）と極めて低く、常温、常圧下ではほとんど揮発しないと考えられることから、これを動物が吸入し暴露することも考えにくい。動物体への暴露が想定される最悪のケースは、空間に噴霧された薬剤が動物体に暴露するものであるが、臨床用量の5倍量を鶏、牛に直接噴霧した場合にも、血液、鶏卵、乳のいずれからもジノテフランは検出されないことが確認されている（定量限界0.01ppm）。このことから、本製剤については適切に使用される限りにおいて、製剤に含有される成分が食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できるものと考えられると評価されている。

7. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

農薬としては、米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてばれいしょ、ぶどう等に残留基準値が設定されている。

動物用医薬品としては、食用動物への直接の使用は認められていない。

8. 基準値案

（1）残留の規制対象

ジノテフランとする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質としてジノテフラン（親化合物のみ）を設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限までジノテフランが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大1日摂取量(TMD I)）のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	TMD I / ADI (%) ^{注)}
国民平均	18.4
幼小児 (1~6歳)	34.0
妊婦	14.5
高齢者 (65歳以上)	19.3

注) TMD I 試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算している。

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
水稻 (玄米)	2	2%粒剤＋ 0.5%粉剤	育苗箱 50g/箱 (1回) 散布 3kg/10a (3回)	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.124 圃場B:0.131
水稻 (玄米)	2	2%粒剤＋1%粒剤 ＋0.5%粉剤	育苗箱 50g/箱 (1回)、散布 4kg/10a (1回) 散布 3kg/10a (2回)	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.127 (4回, 7日) (#) 圃場B:0.063 (4回, 7日) (#)
水稻 (玄米)	2	2%粒剤＋ 1%粒剤	育苗箱 50g/箱 (1回) 散布 4kg/10a (3回)	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.04 (4回, 14日) (#) 圃場B:0.01 (4回, 7日) (#)
水稻 (玄米)	2	2%粒剤＋ 20%水溶剤	育苗箱 50g/箱 (1回) 2,000倍散布 150L/10a (3回)	4回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.44 (4回, 21日) 圃場B:0.50 (4回, 14日)
水稻 (玄米)	2	2%粒剤＋ 10%液剤	育苗箱 50g/箱 (1回) 1,000倍茎葉散布 150L/10a (3回)	4回	7, 14, 21, 28日 7, 14, 19, 28日	圃場A:0.29 (4回, 21日) 圃場B:0.38 (4回, 19日)
水稻 (玄米)	2	2%粒剤＋ 10%液剤	育苗箱 50g/箱 (1回) 8倍無人ヘリ散布 0.8L/10a (3回)	4回	7, 14, 21, 28, 35日 7, 21, 28日	圃場A:0.39 (4回, 14日) 圃場B:0.40 (4回, 21日)
水稻 (玄米)	2	12%粒剤＋ 40%水和剤＋ 10%ゾル剤	育苗箱 50g/箱 (1回) 100倍希釈500mL/箱 (1回) 1,000倍希釈散布150L/10a (3回)	5回	7, 21, 28日	圃場A:0.74 (5回, 21日) (#) 圃場B:0.54 (5回, 21日) (#)
水稻 (玄米)	2	12%粒剤＋ 40%水和剤＋ 10%ゾル剤	育苗箱 50g/箱 (1回) 100倍希釈500mL/箱 (1回) 原液無人ヘリ散布200mL/10a (3回)	5回	7, 21, 28日	圃場A:0.40 (5回, 7日) (#) 圃場B:0.94 (5回, 7日) (#)
水稻 (玄米)	2	12%粒剤＋ 40%水和剤＋ 10%液剤	育苗箱 50g/箱 (1回) 100倍希釈500mL/箱 (1回) 250倍希釈散布25L/10a (3回)	5回	7, 21, 28日	圃場A:0.24 (5回, 7日) (#) 圃場B:0.58 (5回, 21日) (#)
水稻 (玄米)	2	12%粒剤＋ 40%水和剤＋ 10%液剤	育苗箱 50g/箱 (1回) 100倍希釈500mL/箱 (1回) 250倍希釈散布25L/10a (3回)	5回	7, 21, 28日	圃場A:0.16 (5回, 7日) (#) 圃場B:0.24 (5回, 7日) (#)
水稻 (玄米)	2	12%粒剤＋ 40%水和剤 3%粒剤	育苗箱 50g/箱 (1回) 100倍希釈液500mL/箱 (1回) 散布 3kg/10a (3回)	5回	7, 21, 28, 35日	圃場A:0.08 (#) 圃場B:0.04 (5回, 21日) (#)
だいず (乾燥子実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種時播溝処理土壌混和 6kg/10a (1回) 2,000倍散布 250, 300L/10a (2回)	3回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.006 (3回, 14日) 圃場B:0.014 (3回, 14日)
だいず (乾燥子実)	2	1%粒剤＋ 10%液剤	播種時播溝処理土壌混和 6kg/10a (1回) 8倍無人ヘリ散布 0.8L/10a (2回)	3回	7, 14, 21, 28日	圃場A:<0.02 圃場B:<0.02
だいず (乾燥子実)	2	1%粒剤＋ 0.5%粉剤	播種時播溝処理土壌混和 6kg/10a (1回) 散布 4kg/10a (2回)	3回	7, 14, 21, 28日	圃場A:<0.02 圃場B:<0.02
ばれいしょ (塊茎)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植付時植溝土壌混和 6kg/10a (1回) 1,000倍散布 150, 200L/10a (2回)	3回	7, 13, 28, 42日 7, 14, 28, 42日	圃場A:0.03 (3回, 7日) (#) 圃場B:0.02 (3回, 7日) (#)
かんしょ (塊根)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 300, 200L/10a	1回	3, 7, 14日	圃場A:<0.02 圃場B:<0.02
てんさい (根部)	2	20%水溶剤	100倍散布 定植当日苗灌注 1L/冊 (1回) 1,000倍散布 300, 150L/10a (2回)	3回	7, 14, 22日 6, 13, 21日	圃場A:0.04 (3回, 7日) 圃場B:<0.01 (3回, 6日)
だいこん (根部)	2	1%粒剤	播種時播溝処理 6kg/10a	1回	50, 57, 64日 56, 63, 70日	圃場A:0.026 (1回, 57日) 圃場B:0.010 (1回, 56日)
だいこん (葉部)	2	1%粒剤	播種時播溝処理 6kg/10a	1回	50, 57, 64日 56, 63, 70日	圃場A:0.064 (1回, 50日) 圃場B:0.038 (1回, 63日)
だいこん (根部)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種時播溝処理 6kg/10a (1回)、株元処理 6kg/10a (1回) 1,000倍散布 200L/10a (2回)	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.08 (4回, 7日) (#) 圃場B:0.12 (4回, 7日) (#)
だいこん (葉部)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種時播溝処理 6kg/10a (1回)、株元処理 6kg/10a (1回) 1,000倍散布 200L/10a (2回)	4回	7, 14, 21日	圃場A:1.50 (4回, 7日) (#) 圃場B:1.34 (4回, 7日) (#)
だいこん (根部)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種前全面土壌混和12kg/10a (1回) 播種時播溝土壌混和6kg/10a (1回) 生育期葉面散布6kg/10a (1回) 1,000倍散布 200, 150L/10a (2回)	5回	7, 14, 21日	圃場A:0.12 (5回, 7日) (#) 圃場B:0.08 (5回, 7日) (#)
だいこん (葉部)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種前全面土壌混和12kg/10a (1回) 播種時播溝土壌混和6kg/10a (1回) 生育期葉面散布6kg/10a (1回) 1,000倍散布 200, 150L/10a (2回)	5回	7, 14, 21日	圃場A:1.99 (5回, 7日) (#) 圃場B:4.12 (5回, 7日) (#)
かぶ (根部)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種時土壌混和 9kg/10a (1回) 2,000倍希釈液150, 150～200L/10a (2回)	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.10 (3回, 3日) (#) 圃場B:0.15 (3回, 3日) (#)
かぶ (葉部)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種時土壌混和 9kg/10a (1回) 2,000倍希釈液150, 150～200L/10a (2回)	3回	3, 7, 14日	圃場A:2.08 (3回, 3日) (#) 圃場B:2.82 (3回, 3日) (#)
クレソン (茎葉)	2	20%水溶剤	3000倍散布 150L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.9 圃場B:1.1
はくさい (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	定植時植穴土壌混和 3g/株 (1回) 2,000倍散布 200, 200～300L/10a (2回)	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A:0.320 圃場B:0.426
はくさい (茎葉)	2	20%水溶剤	100倍, 500mL/トレイ 定植時灌注処理 (1回) 2000倍希釈300L/10a散布 (2回)	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.54 圃場B:0.38 (3回, 7日)
キャベツ (葉球)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植穴処理 3g/株 (1回) 2,000倍散布 200L/10a (2回)	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.820 圃場B:0.913 (3回, 7日)
キャベツ (葉球)	2	20%水溶剤＋1%粒 剤 ＋20%水溶剤	50倍散布 500mL/箱 (1回)、植穴土壌混和 3g/ 株 (1回) 2,000倍散布 200, 202L/10a (2回)	4回	3, 7, 14日	圃場A:0.18 (3回, 3日) (#) 圃場B:0.27 (3回, 3日) (#)
こまつな (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	定植時播溝土壌混和 6kg/10a (1回) 2,000倍希釈液150～200, 200L/10a (2回)	3回	3, 7, 14日 3, 7, 15日	圃場A:3.86 (3回, 7日) 圃場B:1.36
みずな (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	定植時播溝土壌混和 6kg/10a (1回) 2,000倍希釈液200, 50～100L/10a (2回)	3回	3, 7, 14日	圃場A:3.32 圃場B:4.06

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
チンゲンサイ (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	定植時植溝土壌混和 6kg/10a (1回) 2,000倍希釈液150～300, 200L/10a (2回)	3回	3, 7, 14日	圃場A:3.92 圃場B:2.02
ブロッコリー (花蕾)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植穴土壌混和 2g/株 (1回) 2,000倍散布 200L/10a (2回)	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A:0.64 圃場B:0.14
ブロッコリー (花蕾)	2	20%水溶剤	50倍定植時灌注 500ml/トイ (1回) 2,000倍散布 150, 200L/10a (2回)	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.86 (#) 圃場B:0.28 (#)
なばな (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	定植時植溝土壌混和6kg/10a (1回) 2,000倍散布 250, 150L/10a (2回)	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:1.48 圃場B:0.18
わさび (根茎)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.4 圃場B:<0.1
わさび (花及び花茎)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21, 28日	圃場A:2.04 圃場B:0.89
わさび (葉)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21, 28日	圃場A:2.01 圃場B:0.26
しゅんぎく (茎葉)	2	20%水溶剤＋ 1%粒剤＋ 20%水溶剤	2,000倍希釈液茎葉散布100, 500mL/箱 (1回) 50倍希釈液灌注処理 500mL/箱 (1回) 定植時植溝土壌混和 20kg/10a (1回) 2,000倍希釈液 200L/10a (2回)	5回	1, 3, 7, 13日 1, 3, 7, 14日	圃場A:7.5(5回, 1日) (#) 圃場B:12.7(5回, 1日) (#)
レタス (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植穴土壌混和 2g/株 (1回) 2,000倍散布 200, 300L/10a (2回)	3回	3, 7, 14, 21日	圃場A:1.00(3回, 3日) 圃場B:0.635(3回, 3日)
レタス (茎葉)	2	20%水溶剤＋1%粒 剤 ＋20%水溶剤	50倍散布 500ml/箱 (1回)、植穴土壌混和 3g/ 株 (1回) 2,000倍散布 200, 202L/10a (2回)	4回	3, 7, 14日	圃場A:1.67(4回, 3日) 圃場B:2.58(4回, 3日)
レタス (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種前培土混和 30g/培土L (1回) 2,000倍散布 500mL/トイ (1回) 50倍 トイ灌注 500mL/トイ (1回) 2,000倍散布 200L/10a (2回)	5回	3, 7, 14日	圃場A:3.16(5回, 3日) (#) 圃場B:2.04(5回, 3日) (#)
レタス (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤＋ 1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種前培土混和 30g/培土L (1回) 2,000倍散布 500mL/トイ (1回) 定植時植穴土壌混和 2g/株 (1回) 2,000倍散布 200L/10a (2回)	5回	3, 7, 14日	圃場A:3.11(5回, 3日) (#) 圃場B:1.53(5回, 3日) (#)
リーフレタス (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種前培土混和 30g/培土L (1回) 2,000倍散布 500mL/トイ (1回) 50倍 トイ灌注 500mL/トイ (1回) 2,000倍散布 300, 200L/10a (2回)	5回	3, 7, 14日	圃場A:4.97(5回, 3日) (#) 圃場B:2.61(5回, 3日) (#)
リーフレタス (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤＋ 1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種前培土混和 30g/培土L (1回) 2,000倍散布 500mL/トイ (1回) 定植時植穴土壌混和 2g/株 (1回) 2,000倍散布 300, 200L/10a (2回)	5回	3, 7, 14日	圃場A:14.6(5回, 3日) (#) 圃場B:11.8(5回, 3日) (#)
オータムボエム (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	定植時植溝土壌混和6kg/10a (1回) 2,000倍散布 200, 300L/10a (2回)	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:4.24 圃場B:2.90
サラダ菜 (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種前培土混和 30g/培土L (1回) 2,000倍散布 500mL/トイ (1回) 50倍 トイ灌注 500mL/トイ (1回) 2,000倍散布 300, 200L/10a (2回)	5回	3, 7, 14日	圃場A:11.4(5回, 3日) (#) 圃場B:14.6 (5回, 7日) (#)
サラダ菜 (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤＋ 1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種前培土混和 30g/培土L (1回) 2,000倍散布 500mL/トイ (1回) 定植時植穴土壌混和 2g/株 (1回) 2,000倍散布 300, 200L/10a (2回)	5回	3, 7, 14日	圃場A:16.0(5回, 3日) (#) 圃場B:5.21(5回, 3日) (#)
食用ぎく (花部)	1	1%粒剤＋ 20%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2g/株 (1回) 3,000倍散布 150L/10a (2回)	3回	7, 14, 21日	圃場A:2.0(3回, 7日) (#)
食用ぎく (花部)	1	1%粒剤＋ 20%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2g/株 (1回) 2,000倍散布 200L/10a (2回)	3回	7, 14, 21日	圃場A:1.3(3回, 7日) (#)
すいぜんじな (茎葉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A:2.9 圃場B:2.2
ふき (葉柄)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.52 圃場B:0.70
ねぎ (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植溝土壌混和 6kg/10a (1回)、株元処理 6kg/10a (1回) 1,000倍散布 200L/10a (2回)	4回	3, 7, 14, 21日	圃場A:0.70(4回, 3日) (#) 圃場B:1.00(4回, 14日) (#)
ねぎ (茎葉)	1	20%水溶剤＋1%粒 剤 ＋20%水溶剤	50倍散布 500ml/箱 (1回)、植溝土壌混和 9kg/10a (1回) 生育期100倍株元散布 100L/10a (1回) 2,000倍散布 200L/10a、1,000倍散布100L/10a (2回)	5回	3, 7, 14, 21日	圃場A:1.03(5回, 3日) (#)
ねぎ (茎葉)	1	20%水溶剤＋1%粒 剤 ＋20%水溶剤	50倍散布 500ml/箱 (1回)、 植溝土壌混和 9kg/10a (1回) 生育期100倍株元灌注 100L/10a (1回) 2,000倍散布 120～150L/10a (2回)	5回	3, 7, 14, 21日	圃場A:1.82(5回, 3日) (#)
ねぎ (茎葉)	2	20%水溶剤＋ 1%粒剤	50倍定植時灌注 500ml/トイ (1回) 100倍生育期株元灌注 100L/10a (1回) 生育期株元散布 9kg/10a (2回)	4回	3, 7, 14, 21日	圃場A:1.97 (ねぎ) (4回, 7日) (#) 圃場B:8.04 (深ねぎ) (4回, 7日) (#)
ねぎ (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤＋ 1%粒剤	定植時植溝土壌混和 6kg/10a (1回) 100倍生育期株元灌注 100L/10a (1回) 生育期株元散布 9kg/10a (2回)	4回	3, 7, 14, 21日	圃場A:1.24 (4回, 14日) (#) 圃場B:7.78 (4回, 7日) (#)
にら (茎葉)	2	20%水溶剤	400倍希釈液生育期株元灌注 400L/10a (1回) 2,000倍散布 200, 150L/10a (2回)	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:5.20 (3回, 3日) 圃場B:2.44
アスパラガス (茎葉)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 800L/10a	3回	1, 7, 14, 21日	圃場A:0.08 圃場B:0.13
らっきょう (鱗茎)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 200, 300L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.18(3回, 1日) (#) 圃場B:0.26(3回, 1日) (#)

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
にんじん (根部)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種時播溝土壌混和 9kg/10a (1回) 1,000倍散布 170,541.7～597.2L/10a (2回)	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.13(3回, 14日) (#) 圃場B:0.34(3回, 14日) (#)
にんじん (根部)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	播種時播溝土壌混和 9kg/10a (1回) 400倍希釈液生育期株元灌注 400L/10a (1回) 2,000倍散布 200L/10a (2回)	4回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.38 圃場B:0.20
セルリー (茎葉)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2g/株 (1回) 1,000倍散布 150,200L/10a (2回)	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.98(3回, 14日) (#) 圃場B:1.82(3回, 14日) (#)
せり (茎葉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150,200L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.04 圃場B:1.7
トマト (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植穴処理 2g/株 (1回) 2,000倍散布 200,300L/10a (2回)	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.142(3回, 1日) (#) 圃場B:0.347(3回, 3日) (#)
トマト (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤＋ 1%粒剤＋ 20%水溶剤	育苗培土混和処理 40g/L (1回) 2,000倍希釈液 1.0.2L/トレイ (1回) 50倍希釈液 500mL/トイ (1回) ポット株元散布 (1回)＋植穴土壌混和 2g/株 (1回) 2,000倍希釈液 250L/10a (2回)	7回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.34(7回, 7日) (#) 圃場B:0.20(7回, 1日) (#)
トマト (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤＋ 1%粒剤	育苗培土混和処理 40g/L (1回) 2000倍希釈液 1.0.2L/トイ (1回) 50倍希釈液 500mL/トイ (1回) ポット株元散布 (1回)＋植穴土壌混和 (1回)＋ 株元散布2g/株 (2回)	7回	1, 7, 14, 21, 28日	圃場A:0.10 (7回, 7日) (#) 圃場B:0.08 (#)
ミニトマト (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤＋ 1%粒剤＋ 20%水溶剤	育苗培土混和処理 40g/L (1回) 2,000倍希釈液 1.0.2L/トレイ (1回) 50倍希釈液 500mL/トイ (1回) ポット株元散布 (1回)＋植穴土壌混和 2g/株 (1回) 2,000倍希釈液 250L/10a (2回)	7回	1, 3, 7, 14, 28日	圃場A:0.58(7回, 7日) (#) 圃場B:0.43(7回, 7日) (#)
ミニトマト (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤＋ 1%粒剤	育苗培土混和処理 40g/L (1回) 2000倍希釈液 1.0.2L/トイ (1回) 50倍希釈液 500mL/トイ (1回) ポット株元散布 (1回)＋植穴土壌混和 (1回)＋ 株元散布2g/株 (2回)	7回	1, 3, 7, 14, 28日	圃場A:0.17(7回, 3日) (#) 圃場B:0.17 (7回, 3日) (#)
ピーマン (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植穴処理 2g/株 (1回) 2,000倍散布 200L/10a (2回)	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.431 圃場B:1.18
ピーマン (果実)	2	1%粒剤	植穴土壌混和 2g/株 (1回) 株元処理 2g/株 (2回)	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.10(3回, 3日) 圃場B:0.07(3回, 1日)
なす (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植穴処理 2g/株 (1回) 2,000倍散布 250L/10a (2回)	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.264 圃場B:0.504
なす (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植穴土壌混和 2g/株 (1回)、 株元処理 2g/株 (1回) 2,000倍散布 200,157L/10a (2回)	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.48(4回, 1日) (#) 圃場B:0.46(4回, 1日) (#)
なす (果実)	2	1%粒剤	植穴土壌混和 2g/株 (1回) 株元処理 2g/株 (2回)	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.06(3回, 1日) (#) 圃場B:0.08(3回, 7日) (#)
ししとう (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2g/株 (1回) 2,000倍希釈液 250,150L/10a (2回)	3回	1, 3, 7日	圃場A:1.44(3回, 1日) 圃場B:1.50(3回, 3日)
ししとう (果実)	2	20%水溶剤＋ 1%粒剤＋ 20%水溶剤	2,000倍希釈液 500,100mL/箱 散布 (1回) 50倍希釈液 500mL/箱 灌注 (1回) 200倍希釈液 20mL/株 灌注 (1回) 植穴土壌混和 2g/株 (1回)＋株元散布 2g/株 (1回) 2,000倍希釈液 300・90,120L/10a (2回)	7回	1, 3, 7, 14日	圃場A:1.42(7回, 3日) (#) 圃場B:1.60(7回, 1日) (#)
とうがらし (果実)	2	20%水溶剤＋ 1%粒剤＋ 20%水溶剤	2,000倍希釈液 1000mL/箱,200mL/3箱 (1回) 50倍希釈液 500mL/株 灌注 (1回) 200倍希釈液 20mL/株 灌注 (1回) 植穴土壌混和 2g/株 (1回)＋株元散布 2g/株 (1回) 2,000倍希釈液 200,170L/10a (2回)	7回	1, 3, 7, 14日	圃場A:1.8(7回, 7日) (#) 圃場B:1.6(7回, 1日) (#)
とうがらし(葉) (茎葉)	2	1%粒剤	定植時植穴土壌混和 1g/株	1回	30, 45, 60日	圃場A:2.2 圃場B:0.82
きゅうり (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植穴処理 2g/株 (1回) 2,000倍散布 200L/10a (2回)	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.43(3回, 3日) 圃場B:0.52(3回, 3日)
きゅうり (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植穴土壌混和 2g/株(1回)、 株元処理 2g/株(1回) 2,000倍散布 200,250L/10a (2回)	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.65(4回, 3日) (#) 圃場B:0.38(4回, 1日) (#)
きゅうり (葉)	2	20%水溶剤	3,000倍散布 240,200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:4.00 圃場B:1.14
かぼちゃ (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	定植時植穴土壌混和 2g/株 (1回) 2000倍散布 200L/10a (2回)	3回	1, 7, 14, 21日	圃場A:0.06 圃場B:0.12
すいか (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植穴土壌混和 5g/株 (1回)、 株元処理 2g/株 (1回) 2,000倍散布 200,250L/10a (2回)	4回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.20(4回, 21日) (#) 圃場B:0.13(4回, 21日) (#)
メロン (果実)	2	1%粒剤	植穴処理 2g/株	1回	80, 87, 94日 85, 92, 99日	圃場A:<0.005 圃場B:0.030(1回, 92日)
メロン (果実)	2	1%粒剤＋ 20%水溶剤	植穴処理 2g/株 (1回) 1,000倍散布 250L/10a (2回)	3回	3, 14, 28, 42日	圃場A:0.47(3回, 28日) (#) 圃場B:0.26(3回, 28日) (#)
にがうり (果実)	2	20%水溶剤＋ 1%粒剤＋ 20%水溶剤	2,000倍希釈液 500mL/トイ (1回) 定植時植穴土壌混和 2g/株 (1回) 2,000倍散布 250,200L/10a (2回)	4回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.40(4回, 1日) (#) 圃場B:0.69(4回, 1日) (#)

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
きゅうり (花)	2	20%水溶剤	3,000倍散布 240,200L/10a	2回	1,3,7日	圃場A:2.40 圃場B:2.79
まくわうり (果実)	2	20%水溶剤	3,000倍散布 300L/10a	1回	3,7,14,21,28,35日	圃場A:0.10(1回,14日) 圃場B:0.19(1回,14日)
まくわうり (果実)	2	20%水溶剤	3,000倍散布 300L/10a	2回	3,7,14,21,28,35日	圃場A:0.21(2回,14日)(#) 圃場B:0.40(2回,21日)(#)
ほうれんそう (茎葉)	2	1%粒剤+ 20%水溶剤	定植時植溝土壌混和 9kg/10a (1回) 2,000倍散布 150,250L/10a (2回)	3回	3,7,14日	圃場A:9.33(3回,3日)(#) 圃場B:7.10(3回,3日)(#)
オクラ (果実)	2	1%粒剤+ 20%水溶剤	生育期株元処理 9kg/10a (1回) 2,000倍散布 180~250,300L/10a (2回)	3回	1,3,7,14日	圃場A:0.46(3回,7日) 圃場B:0.56(3回,1日)
さやえんどう (さや)	2	20%水溶剤+ 1%粒剤+ 20%水溶剤	100倍希釈液 30mL/株 灌注(1回) 植溝土壌混和(1回)+株元散布 9kg/10a (1回) 2,000倍希釈液 300,200L/10a (2回)	5回	1,3,7,14日	圃場A:2.49(5回,3日)(#) 圃場B:1.17(5回,1日)(#)
えだまめ (さや)	2	1%粒剤+ 20%水溶剤	播種時播溝処理土壌混和 6kg/10a (1回) 2,000倍散布 200,220L/10a (2回)	3回	7,14,21,28日	圃場A:0.534(3回,14日)(#) 圃場B:0.678(3回,7日)(#)
えだまめ (さや)	2	1%粒剤+ 0.5%粉剤	播種時播溝土壌混和 6kg/10a (1回) 散布4kg/10a (2回)	3回	1,3,7,14,21日	圃場A:0.32(3回,7日)(#) 圃場B:0.20(3回,7日)(#)
くわい (塊茎)	2	1%粒剤	3kg/10a	3回	30,60,90日	圃場A:0.03 圃場B:0.06
食用ほおずき (果実)	2	20%水溶剤	3,000倍散布 250L/10a	2回	3,7,14日	圃場A:<0.40 圃場B:<0.40
食用カーネーション (花)	2	20%水溶剤	3,000倍散布 150L/10a	2回	3,7,14日	圃場A:5.48 圃場B:5.40
食用トレニア (花器全体)	2	20%水溶剤	3,000倍散布 150,200L/10a	2回	3,7,14日	圃場A:3.96 圃場B:4.13
食用パンジー (果実)	2	20%水溶剤	3,000倍散布 150L/10a	2回	3,7,14日	圃場A:2.5 圃場B:1.7
食用ミニバラ (果実)	2	20%水溶剤	3,000倍散布 200L/10a	2回	3,7,14日	圃場A:1.06 圃場B:0.82
えごま (葉)	2	20%水溶剤	3,000倍希釈液散布 200L/10a	2回	3,7,14日	圃場A:12.3 圃場B:15.5
温州みかん (果肉)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 400L/10a	2回	7,14,28,42,56日 8,14,28,42,49日	圃場A:0.460(2回,28日) 圃場B:0.581(2回,28日)
温州みかん (果皮)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 400L/10a	2回	7,14,28,42,56日 8,14,28,42,49日	圃場A:1.95(2回,7日) 圃場B:3.46(2回,8日)
温州みかん (果肉)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 400,660L/10a	3回	1,7,21,28,42,56日	圃場A:0.79(3回,28日) 圃場B:0.64(3回,42日)
温州みかん (果皮)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 400,660L/10a	3回	1,7,21,28,42,56日	圃場A:5.96 圃場B:4.64
なつみかん (果肉)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 500L/10a	2回	7,14,21日	圃場A:0.012(2回,14日) 圃場B:0.034(2回,14日)
なつみかん (果皮)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 500L/10a	2回	7,14,21日	圃場A:1.34(2回,14日) 圃場B:0.99(2回,7日)
なつみかん (果実全体)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 500L/10a	2回	7,14,21日	圃場A:0.486(2回,14日) 圃場B:0.233(2回,7日)
なつみかん (果実全体)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 833~1250,500L/10a	3回	1,7,14,21,28日	圃場A:1.18(3回,14日) 圃場B:1.90(3回,14日)
すだち (果実)	1	20%水溶剤	1,000倍散布 500L/10a	2回	7,14,21日	圃場A:1.04
すだち (果実)	1	20%水溶剤	1,000倍散布 500,600L/10a	3回	1,7,14,21,28日	圃場A:4.66
かぼす (果実)	1	20%水溶剤	1,000倍散布 750L/10a	2回	7,14,21日	圃場A:0.83
かぼす (果実)	1	20%水溶剤	1,000倍散布 500,600L/10a	3回	1,7,14,21,28日	圃場A:0.77(3回,14日)
りんご (果実)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 500,600L/10a	2回	7,14,21日	圃場A:0.276(2回,7日)(#) 圃場B:0.187(2回,7日)(#)
りんご (果実)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 500L/10a (1回) 2,000倍希釈液 600,500L/10a (3回)	4回	1,3,7,14,21日	圃場A:0.14(4回,1日)(#) 圃場B:0.10(4回,7日)(#)
なし (果実)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 400,500L/10a	2回	7,14,21,28日	圃場A:0.736(2回,7日)(#) 圃場B:0.454(2回,7日)(#)
なし (果実)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 500L/10a (1回) 2,000倍散布 350L/10a (3回)	4回	1,3,7,14,21,28日	圃場A:0.16(4回,1日)(#) 圃場B:0.42(4回,1日)(#)
びわ (果肉)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 400L/10a	2回	1,3,7,14,21日	圃場A:0.36(2回,14日) 圃場B:0.18(2回,7日)
もも (果肉)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 400,450L/10a	2回	7,14,20,26日 7,14,21,27日	圃場A:0.196 圃場B:0.476
もも (果皮)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 400,450L/10a	2回	7,14,20,26日 7,14,21,27日	圃場A:1.24 圃場B:1.90
もも (果肉)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 400,500L/10a (1回) 2,000倍散布 400,500L/10a (3回)	4回	1,3,7,14,21,28日	圃場A:1.03(4回,21日)(#) 圃場B:0.54(4回,3日)(#)
もも (果皮)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 400,500L/10a (1回) 2,000倍散布 400,500L/10a (3回)	4回	1,3,7,14,21,28日	圃場A:5.28(4回,1日)(#) 圃場B:5.26(4回,1日)(#)

ジノテフラン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ネクタリン (果実)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 270, 700L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.93 圃場B:0.86
すもも (果実)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 500L/10a (1回) 2,000倍散布 400, 500L/10a (3回)	4回	1, 3, 7, 21日	圃場A:0.22(4回, 1日) (#) 圃場B:0.18(4回, 7日) (#)
うめ (果実)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.36(2回, 7日) 圃場B:1.94(2回, 7日)
うめ (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300, 480L/10a	3回	1, 7, 14, 21日	圃場A:0.78 圃場B:1.28
おうとう (果実)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 400, 500L/10a	2回	7, 14, 21, 28日	圃場A:2.76(2回, 21日) (#) 圃場B:1.54(2回, 7日) (#)
おうとう (果実)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 500L/10a (1回) 2,000倍散布 400, 500L/10a (2回)	3回	1, 7, 14, 21, 28日 1, 7, 13, 20, 27日	圃場A:2.03(3回, 1日) (#) 圃場B:5.05(3回, 1日) (#)
いちご (果実)	2	1%粒剤+ 20%水溶剤	定植時植穴処理 1g/株 (1回) 2,000倍散布 200, 201L/10a (2回)	3回	1, 3, 7日	圃場A:1.58(3回, 3日) (#) 圃場B:2.30(3回, 3日) (#)
いちご (果実)	2	1%粒剤	定植時植穴処理 1g/株	1回	121, 128, 135日 130, 137, 144日	圃場A:0.606(1回, 121日) 圃場B:0.039(1回, 137日)
ぶどう (果実)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 400, 280~360L/10a	2回	7, 14, 21, 28日	圃場A (大粒種) :3.36(2回, 7日) 圃場B (小粒種) :3.16(2回, 14日)
ぶどう (果実)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 400, 500L/10a	3回	1, 7, 14, 21, 28日	圃場A (小粒種) :7.8(3回, 14日) 圃場B (大粒種) :1.82(3回, 21日)
かき (果実)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 300, 313L/10a	2回	7, 14, 20日 7, 14, 21日	圃場A:0.50(2回, 7日) (#) 圃場B:0.70(2回, 14日) (#)
かき (果実)	2	20%水溶剤	500倍土壌表面散布 5L/樹 (1回) 2,000倍散布 300, 500L/10a (3回)	4回	1, 3, 7, 14, 21日	圃場A:0.34(4回, 3日) (#) 圃場B:0.55(4回, 1日) (#)
キウイフルーツ (果実)	2	20%水溶剤	1,000倍散布 300, 500L/10a	3回	1, 7, 14, 21, 28日	圃場A:0.10 (3回, 7日) 圃場B:0.20 (3回, 14日)
マンゴー (果実)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 200, 320L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.34 圃場B:0.32
あけび (果実)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 500L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.08 圃場B:0.05
茶 (荒茶)	2	20%水溶剤	2,000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:9.10 圃場B:19.1
茶 (荒茶)	2	1%粒剤	株元散布 12kg/10a	2回	7, 14, 28, 56日	圃場A:3.25(2回, 28日) 圃場B:1.43(2回, 28日)
はっか (茎葉)	2	20%水溶剤	3,000倍散布 180, 170L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:3.37 圃場B:3.08
しそ (花穂)	2	20%水溶剤	3,000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:3.48 圃場B:4.38
しそ (茎葉)	2	20%水溶剤	3,000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14, 21日	圃場A:14.6 圃場B:9.32
バジル (茎葉)	2	20%水溶剤	3,000倍散布 250, 300L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:5.56 圃場B:4.80

(注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

(注2) (#)：これらの作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

(注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	2	2	○			0.74(#),0.54(#)
大豆	0.1	0.1	○			0.006,0.014(\$)
ばれいしょ	0.2	0.2	○			0.03(#,\$),0.02(#)
かんしょ	0.1		申			<0.02,<0.02
てんさい	0.2	0.2	○			0.04(#,\$),<0.01(#)
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.5	0.5	○			0.08(#),0.12(#,\$)
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	10	3	○・申			4.12(#),1.99(#)
かぶ類の根	0.5	0.5	○			0.10(#),0.15(#)
かぶ類の葉	5	5	○			2.08(#),2.82(#)
クレソン	5	5	○			
はくさい	2	1.4	○			0.54(\$),0.38
キャベツ	2	2	○			0.820,0.913
芽キャベツ	1	1.4				
ケール	10	5	○・申			みずな参照
こまつな	10	5	○・申			3.86(\$),1.36
きょうな	10	3	○・申			4.06,3.22(みずな)
チンゲンサイ	10	10	○・申			3.92(#,\$),2.02(#)
カリフラワー	2	2				
ブロッコリー	2	2	○			0.64(\$),0.14
その他のあぶらな科野菜	10	5	○・申			4.24,2.90(オータムボエム)
アーティチョーク	5	5				
チコリ	5	5				
エンダイブ	5	5				
しゅんぎく	20	20	○			7.5(#),12.7(#)
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	25	5	○・申			16.0(#,\$),5.21(#)(サラダ菜)
その他のきく科野菜	5	5	○			2.0,1.3(食用ぎく)
ねぎ(リーキを含む。)	15	5	○・申			8.04(根深ねぎ)
にら	10		申			5.20,2.44
アスパラガス	0.5		申			0.13,0.08
その他のゆり科野菜	0.7	0.7	○			0.26(#),0.18(#)(らっきょう)
にんじん	1	0.7	○・申			0.38(\$),0.20
パセリ	5	5				
セロリ	5	5	○			1.82(#),0.98(#)
みつば	5	5				
その他のせり科野菜	5	5	○			1.7,0.04(せり)
トマト	2	2	○			0.58(#),0.43(#)
ピーマン	3	3	○			1.18(\$),0.431
なす	2	2	○			0.26,0.50(\$)
その他のなす科野菜	5	5	○			1.8(#),1.6(#)(とうがらし)
きゅうり(ガーキンを含む。)	2	2	○			0.43,0.52(\$)/0.65(#),0.38(#)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	2	0.5	○・申			きゅうり参照
しろりり	2	2	○			
すいか	0.5	0.5	○			0.20(#),0.13(#)
メロン類果実	1	1	○			0.47(#),0.26(#)
まくわり	0.5	0.5	○			0.10,0.19
その他のうり科野菜	10	2	○・申			4.00(\$),1.14(きゅうり(葉))
ほうれんそう	15	15	○			9.33(#),7.10(#)
オクラ	2	2	○			0.46(#),0.56(#)
未成熟えんどう	5	5	○			2.49(#),1.17(#)
えだまめ	2	2	○			0.534(#),0.678(#)
その他の野菜	25	5	○・申			15.5(\$),12.3(えごま(葉))
みかん	2	2	○・申			0.79,0.64
なつみかんの果実全体	5	1	○・申			1.18(#),1.90
レモン	10	3	○・申			すだち参照
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	10	3	○・申			すだち参照
グレープフルーツ	10	3	○・申			すだち参照
ライム	10	3	○・申			すだち参照
その他のかんきつ類果実	10	3	○・申			4.66(すだち)

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
りんご	0.5	0.5	○			0.276(#),0.187(#)
日本なし	1	1	○			0.736(#),0.454(#)
西洋なし	1	1	○			
びわ	1		申			0.36(\$),0.18
もも	3	3	○			1.03(#),0.54(#)
ネクタリン	2	2	○			0.93,0.86
あんず(アブリコットを含む。)	5	5	○・申			ウメ参照
すもも(プルーンを含む。)	0.7	0.5	○・申			0.22(#,\$),0.18(#)
うめ	5	5	○・申			1.36,1.94
おうとう(チェリーを含む。)	10	10	○			2.03(#),5.05(#)
いちご	2	2	○			0.61(\$),0.039
ぶどう	15	10	○・申			7.8(小粒種)
かき	2	2	○			0.50(#),0.70(#)
キウイ	0.5		申			0.20,0.10
マンゴー	1	1	○			0.34,0.32
その他の果実	0.7	0.7	○			
綿実	0.4	0.4				
茶	25	25	○			9.10,19.1(\$)
みかんの果皮		10	○			
その他のスパイス(みかんの果皮を除く。)		5	○			
その他のスパイス	10		○・申			5.96,4.64(みかん(果皮))
その他のハーブ	25	5	○・申			15.5(\$),12.3(えごま(葉))
牛の筋肉	0.05	0.05			0.05	アメリカ
豚の筋肉	0.05	0.05			0.05	アメリカ
羊の筋肉	0.05	0.05			0.05	アメリカ
馬の筋肉	0.05	0.05			0.05	アメリカ
山羊の筋肉	0.05	0.05			0.05	アメリカ
牛の脂肪	0.05	0.05			0.05	アメリカ
豚の脂肪	0.05	0.05			0.05	アメリカ
羊の脂肪	0.05	0.05			0.05	アメリカ
馬の脂肪	0.05	0.05			0.05	アメリカ
山羊の脂肪	0.05	0.05			0.05	アメリカ
牛の肝臓	0.05	0.05			0.05	アメリカ
豚の肝臓	0.05	0.05			0.05	アメリカ
羊の肝臓	0.05	0.05			0.05	アメリカ
馬の肝臓	0.05	0.05			0.05	アメリカ
山羊の肝臓	0.05	0.05			0.05	アメリカ
牛の腎臓	0.05	0.05			0.05	アメリカ
豚の腎臓	0.05	0.05			0.05	アメリカ
羊の腎臓	0.05	0.05			0.05	アメリカ
馬の腎臓	0.05	0.05			0.05	アメリカ
山羊の腎臓	0.05	0.05			0.05	アメリカ
牛の食用部分	0.05	0.05			0.05	アメリカ
豚の食用部分	0.05	0.05			0.05	アメリカ
羊の食用部分	0.05	0.05			0.05	アメリカ
馬の食用部分	0.05	0.05			0.05	アメリカ
山羊の食用部分	0.05	0.05			0.05	アメリカ
乳	0.05	0.05			0.05	アメリカ

本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠で囲んで示した。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

(別紙3)

ジノテフラン推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
米 (玄米をいう。)	2	370.2	195.4	279.4	377.6
大豆	0.1	5.6	3.4	4.6	5.9
ばれいしょ	0.2	7.3	4.3	8.0	5.4
かんしょ	0.1	1.6	1.8	1.4	1.7
てんさい	0.2	0.9	0.7	0.7	0.8
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の根	0.5	22.5	9.4	14.4	29.3
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の葉	10	22.0	5.0	9.0	34.0
かぶ類の根	0.5	1.3	0.4	0.4	2.1
かぶ類の葉	5	2.5	0.5	1.5	5.5
クレソン	5	0.5	0.5	0.5	0.5
はくさい	2	58.8	20.6	43.8	63.4
キャベツ	2	45.6	19.6	45.8	39.8
芽キャベツ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
ケール	10	1.0	1.0	1.0	1.0
ごまつな	10	43.0	20.0	16.0	59.0
きょうな	10	3.0	1.0	1.0	3.0
チンゲンサイ	10	14.0	3.0	10.0	19.0
カリフラワー	2	0.8	0.2	0.2	0.8
ブロッコリー	2	9.0	5.6	9.4	8.2
その他のあぶらな科野菜	10	21.0	3.0	2.0	31.0
アーティチョーク	5	0.5	0.5	0.5	0.5
チコリ	5	0.5	0.5	0.5	0.5
エンダイブ	5	0.5	0.5	0.5	0.5
しゅんぎく	20	50.0	12.0	38.0	74.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	25	152.5	62.5	160.0	105.0
その他のきく科野菜	5	2.0	0.5	2.5	3.5
ねぎ (リーキを含む。)	15	169.5	67.5	123.0	202.5
にら	10	16.0	7.0	7.0	16.0
アスパラガス	0.5	0.5	0.2	0.2	0.4
その他のゆり科野菜	0.7	0.6	0.1	0.1	1.3
にんじん	1	24.6	16.3	25.1	22.3
パセリ	5	0.5	0.5	0.5	0.5
セロリ	5	2.0	0.5	1.5	2.0
みつば	5	1.0	0.5	0.5	1.0
その他のせり科野菜	5	0.5	0.5	0.5	1.5
トマト	2	48.6	33.8	49.0	37.8
ピーマン	3	13.2	6.0	5.7	11.1
なす	2	8.0	1.8	6.6	11.4
その他のなす科野菜	5	1.0	0.5	0.5	1.5
きゅうり (ガーキンを含む。)	2	32.6	16.4	20.2	33.2
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	2	18.8	11.6	13.8	23.0
しろうり	2	0.6	0.2	0.2	1.6
ずいか	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
メロン類果実	1	0.4	0.3	0.10	0.3
まくわうり	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のうり科野菜	10	5.0	1.0	23.0	7.0
ほうれんそう	15	280.5	151.5	261.0	325.5
オクラ	2	0.6	0.4	0.4	0.6
未成熟えんどう	5	3.0	1.0	3.5	3.0
えだまめ	2	0.2	0.2	0.2	0.2
その他の野菜	25	315.0	242.5	240.0	305.0
みかん	2	83.2	70.8	91.6	85.2
なつみかんの果実全体	5	0.5	0.5	0.5	0.5
レモン	10	3.0	2.0	3.0	3.0
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	10	4.0	6.0	8.0	2.0
グレープフルーツ	10	12.0	4.0	21.0	8.0
ライム	10	1.0	1.0	1.0	1.0
その他のかんきつ類果実	10	4.0	1.0	1.0	6.0

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
りんご	0.5	17.7	18.1	15.0	17.8
日本なし	1	5.1	4.4	5.3	5.1
西洋なし	1	0.10	0.10	0.10	0.10
びわ	1	0.1	0.1	0.1	0.1
もも	3	1.5	2.1	12.0	0.3
ネクタリン	2	0.2	0.2	0.2	0.2
あんず (アブリコットを含む。)	5	0.5	0.5	0.5	0.5
すもも (ブルーンを含む。)	0.7	0.1	0.1	1.0	0.1
うめ	5	5.5	1.5	7.0	8.0
おうとう (チェリーを含む。)	10	1.0	1.0	1.0	1.0
いちご	2	0.6	0.8	0.2	0.2
ぶどう	15	87.0	66.0	24.0	57.0
かき	2	62.8	16.0	43.0	99.2
キウイ	0.5	0.9	0.7	0.6	1.0
マンゴー	1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他の果実	0.7	2.7	4.1	1.0	1.2
綿実	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	25	75.0	35.0	87.5	107.5
その他のスパイス	10	1.0	1.0	1.0	1.0
その他のハーブ	25	2.5	2.5	2.5	2.5
陸棲哺乳類の肉類	0.05	2.9	1.6	3.0	2.9
陸棲哺乳類の乳類	0.05	7.1	9.9	9.2	7.1
計		2161.7	1183.2	1774.0	2299.4
ADI比 (%)		18.4	34.0	14.5	19.3

TMDI : 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

(参考)

これまでの経緯

平成14年	4月24日	初回農薬登録
平成16年	4月26日	農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：大豆、大根、メロン等）
平成16年	4月28日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成17年	6月16日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成17年	11月21日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成17年	11月29日	残留農薬基準告示
平成18年	7月28日	残留農薬基準告示
平成18年	8月21日	農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：チンゲンサイ、ほうれん草、あんず等）
平成18年	9月4日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成19年	4月24日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成19年	10月26日	残留農薬基準告示
平成22年	1月18日	農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：にら、キウイ一等）
平成22年	2月15日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成22年	9月9日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成23年	5月19日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成23年	5月24日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井 里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当専門研究員
○大野 泰雄	国立医薬品食品衛生研究所長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室准教授
佐藤 清	財団法人残留農薬研究所理事・化学部長
高橋 美幸	農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究官
永山 敏廣	東京都健康安全研究センター食品化学部長
廣野 育生	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
松田 りえ子	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
宮井 俊一	社団法人日本植物防疫協会技術顧問
山内 明子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一	東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野准教授
鱈渕 英機	大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授

(○：部会長)